

<報道発表資料>

令和3年12月10日

環境施策

「環境科学国際センター展示館」への入館者が100万人を突破

このたび、埼玉県環境科学国際センター展示館（加須市）では、開館（平成12年4月7日）以来の入館者が100万人に達しました。

開館から今日まで、県内市町村及び県内小中学校へ展示施設案内や特別企画のご案内を継続的に行ってきました。昨年、彩かんかんドームをはじめ展示内容をリニューアルし、県内小中学校への来館PR作戦も展開、ついに100万人の方々をお迎えするに至りました。

当センターでは、これを記念して100万人目の入館者の方へ記念品を贈呈し、センター内の生態園で植樹式を行いました。

1 達成日

令和3年12月10日（金）

2 100万人目の入館者

(1) 学校 加須市立種足小学校 ひまわり学級（1年生から6年生）のみなさん

(2) 感想 100万人目になってびっくりしたけど、記念品をもらえてうれしかった。

いつも木のことや自然のことを教えてもらってありがとう。

これからも木のことをいっぱい教えてもらいたい。

3 記念品

- ・出張サイエンスショーチケット

※当センターの研究員が、100万人達成の学校の子供たちだけのために、迫力ある科学実験を目の前で披露する出張サイエンスショーを行う。

- ・記念グッズ（センター名入り定規、エコバッグ、エコ水筒、コバトン消しゴムなど）

4 植樹木

ネムノキ（景観性やビオトープにおける蝶の食草になることなどを考慮して決定）

5 植松総長のコメント

埼玉県環境科学国際センター展示館は、本日、開館以来100万人目の記念すべき入館者をお迎えすることができました。

当センターでは、県民の皆様が環境問題に関する知識を身につけ、社会と環境のかかわりから環境との共生について考えるとともに、一人一人が日常生活の中で行うべき行動を具体的に考え、実践に結びつけるための学習機会を提供しています。

展示館は、子供から大人まで気楽に楽しく学べる体感型施設で変化していく環境問題に

対応するため、20周年を機に展示館をリニューアルし、愛称を「彩かんかん」としました。

今後も当センターが環境科学の総合的な学習の場となり、より多くの県民の皆様に利用されるよう努めてまいります。

6 環境科学国際センターの展示館について

展示館では、観るだけではなく、触れたり動かしたりクイズに答えたりしながら楽しく環境について学べます。

【主な展示内容】

- 彩かんかんドーム
視界を覆いつくす巨大な映像シアターで、映像を通じて地球温暖化などグローバルな環境問題を学べます。
- 触れる地球
宇宙から見たリアルタイムの地球の姿を映し出すデジタル地球儀です。
- 宇宙からのメッセージ
若田光一宇宙飛行士の温暖化に対するメッセージと若田さんと一緒に宇宙を旅した「コバトン」を展示しています。
- メディアワークショップ
クイズを交えながら環境問題を学習できる大型映像です。
- チャレンジ・エコドライブ
排気ガスをなるべく出さない環境に優しい運転方法をゲームで学べます。また、ガソリン車、ハイブリット車、電気自動車での排気ガスの量を比較できます。

【開館時間】

9：30～16：30（入館は16：00まで）

【休館日】

月曜日（休日および県民の日は開館）

開館した月曜日の翌日

年末年始（12月29日から1月3日）

【入場料】

	個人	団体(20人以上)
一般	300円	180円
学生・高校生	200円	120円

※中学生以下、障害のある方は無料